

2015年度 行った行事の紹介

1月
January

1月例会 新年会

1年単位組織である青年会議所。毎年会員の役職や活動スローガンなども一新されます。2015年度も1月例会として新年会を開催し、新潟市長や秋葉区長、新津商工会議所会頭などをはじめとしたご来賓や代々地元の誇りを受け継いで来られたOB（特別会員）、相互協力が不可欠な近隣の青年会議所会員の皆様をお招きし、理事長の熱い思いをお伝えしました。



7月
July

7月例会 Akiha マウンテンプレーパークつくろう!!

継続して行われてきた里山例会。パソコンやゲーム機の普及とともに自然と触れ合うことが減少してきました。2011年に発生した東日本大震災後、自然と人の生活をつなぐシンボルともいえる里山例会は意義深いものです。そして、人間の土台の時期「子ども時代」に子ども達が自然に触れ、自分らしく遊び、そして自分が自然の一部なんだを感じることのできる場所を提供するため、そのような施設「Akiha マウンテンプレーパーク（冒險遊び場）」を秋葉公園に整備することとなり、7月例会にて、そしてその後も毎月1、2回程度、雑木や下草の整理、資材搬入などの準備作業を実施しました。



2月
February

2月総会

年度一回目の通常総会。前年度の事業・決算報告や決算を受けた当年度の予算の確認を行いました。総会は会を運営するための最重要決定機関であり、定款や規定など変更も総会にて行われます。7月には次年度の理事長を選任する臨時総会を開催しました。



8月
August

8月交流事業

区長やコーディネーターをパネラーに招き、近年行われた事業を青年会議所活動に興味があるゲストに紹介し、パネラーからもコメントを頂いて青年会議所の活動を多くの方に知ってもらいました。異業種の方々と名刺交換を行い親睦を深めることができました。



2月例会 バブルサッカー大会

会員同士が結束した素晴らしい2015年にするために、チームスポーツであるバブルサッカー大会を会員候補者と共に開催しました。未体験のスポーツに戸惑いながらも、各チームが優勝を目指してチームワークを高め競い合い、最終的には仲間の輪が広がり、参加者全員が達成感を感じることができました。仲間と共に成し遂げる大切さに気付くことができる事業でした。



3月
March

3月研修事業

新しい会員の入会に伴って経験の浅いメンバーが増えました。より良い事業を構築するためには相応の知識が必要ですが、大切なのは基礎的な事を知ることです。JCとはどのような組織や成り立ち、決まり事があるのかなどを理解してもらうために、「これからのためにJCについて知ろう、考えよう!」と題した研修事業を実施しました。



4月
April

4月例会 わんぱく相撲あきは場所

「わんぱく相撲」は昭和52年、当時の財団法人日本相撲協会と社団法人東京青年会議所の主催で開催され、本年で全国大会は31回目、新津では28回目を迎える脈々と受け継がれてきた伝統ある事業あります。地域に縁のある子供達に普段あまり体験できない本物の土俵に触れること、勝負事の面白さと厳しさ、礼節を感じてもらえることは勿論のこと、相撲が元来持ち合わせる豊作祈願の神事という一面になぞらえて、本大会後に田植え体験を行い地域との絆を更深めると共に、関わる人達の明るい未来と豊かな人間関係の構築に向けて開催いたしました。



11月
November

11月第1例会 Akiha マウンテンプレーパークつくろう!!

7月例会以降、整備作業を行い、山小屋風のリーダーハウスを設置しました。当例会はAkiha マウンテンプレーパークのお披露目のお会として開催され、秋葉町内会や区内企業、行政、地元小学校など地域を代表する非常に多くの関係者の皆様にご参加いただき、当事業への地域からの期待の高さを感じることができました。また、当事業をPRしていただいた秋葉区自治協議会のHP「あきはくはつものがたり」にて1400を超える“いいね”をいただき、この事業が広く県内外から注目されていることが伺えました。遠方から作業協力に来られる方もいらっしゃいました。



5月
May

5月例会 新津まちなかトークセッション～新津未来マップ～

新潟市の中でも魅力溢れる秋葉区を目指すために、新津の地域に住む人々が地域に誇りをもち、魅力を発信していくために、各々が現状のまちの魅力・歴史・自然環境を良く理解しなくてはならないと考えます。地域の住民、薬科大学生と積極的に交流を持ちながら、地域の発展のため魅力を発信するため開催いたしました。ワークショップを行い意見を集め、最後にこんな街になってほしいなという未来マップも作成しました。



12月
December

12月例会 卒業式・バッジ伝達式

一般社団法人新津青年会議所メンバーとして卒業生へのはなむけと、卒業生より2016年度へのエールをいただく機会を開催しました。一年活動してきたことを振り返り、理事長、専務、直前理事長のバッジの伝達をそこで行い、新年度体制へバトンを託します。また40歳を持って卒業される方から残されたメンバーのセレモニーを開催しました。忘年会も兼ねて開催されます。

